

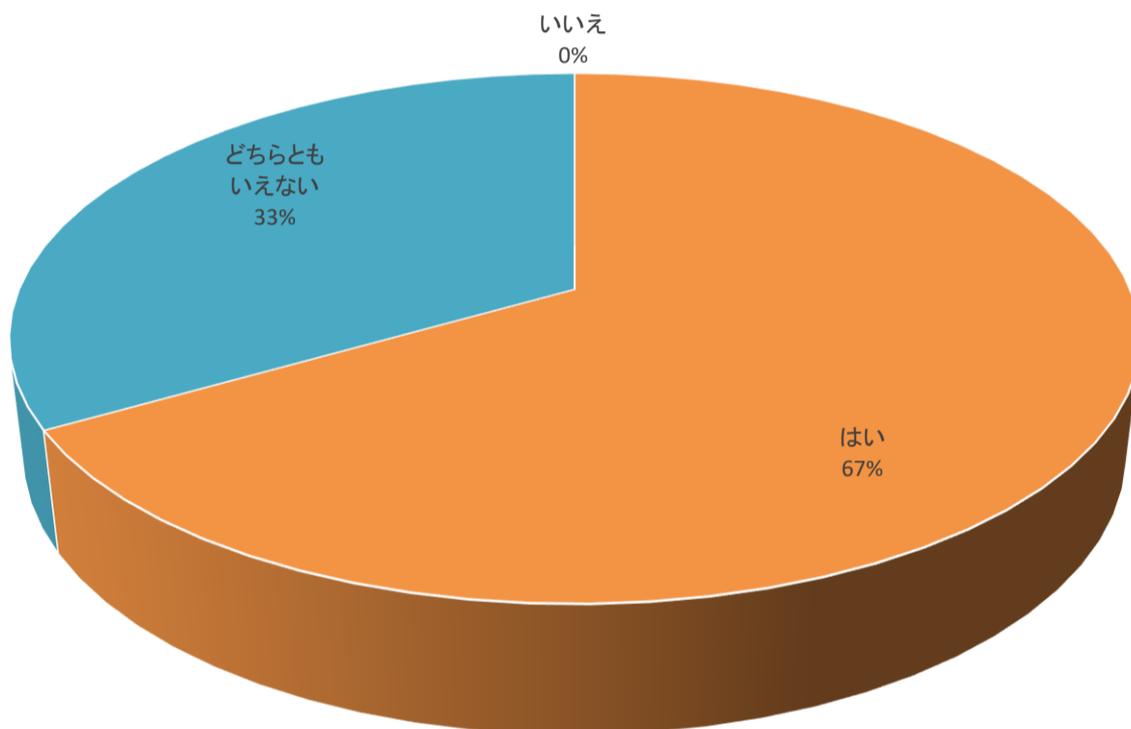
放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年12月1日

事業所名 多機能型ライフサポート 一互一笑

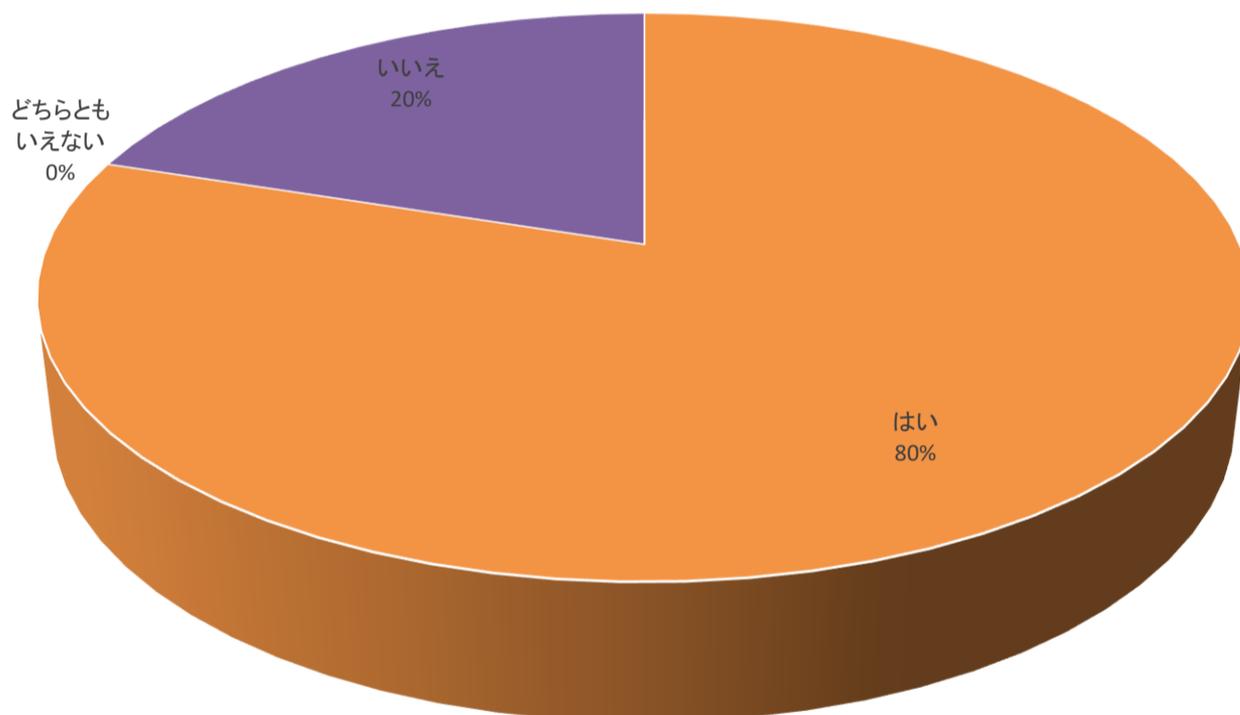
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である		○		当日の利用人数に合わせ、同法人の交流スペースや他部屋を利用する等し、計算しています。	過ごし方について、ご家族の不安がないよう事前にお話しさせていただきます。
	2 職員の配置数は適切である	○			安全の確保を図るために基準以上の人員を配置しています。	今後も同様の体制で行っていきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	○			施設内で危険な箇所がないか施設の委員会で定期的に確認し改善を図っています。	改善を図った部分をおたより等にも明記し、ご家族にも周知していきます。

環境・体制整備



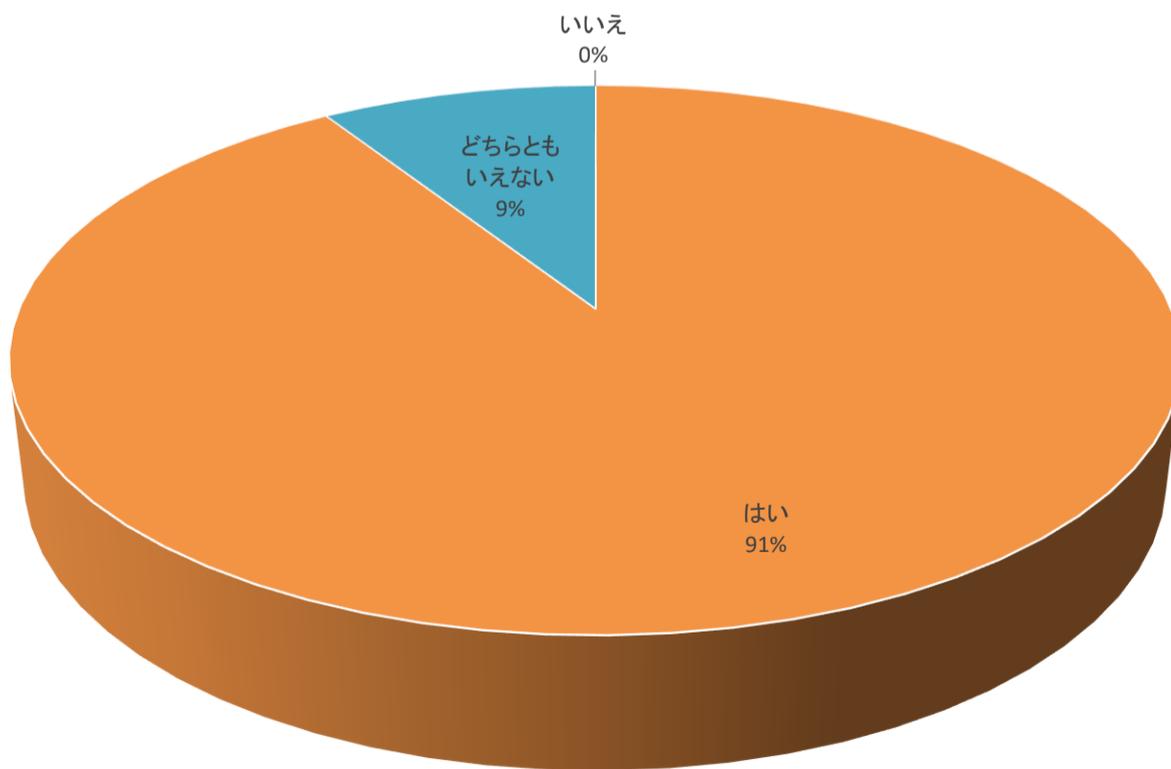
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			利用者支援については、振り返りシートを使い改善に取り組んでいる。また、職員個人に対しても目標設定をし、評価を行うシステムを確立している。	PDCAサイクルにより、業務改善を図り、サービスの質の担保を行っていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			1年に1回の事業所評価を行っているが、より意向をくみ取りやすくするために、保護者会でも意向を確認する機会を設けている。	頂いた意向を明確にし、改善を図っていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	第三者評価は行っていないが、透明性を図るため、地域の会議で取り組み内容を公表しています。	第三者評価については、今後行うかどうか検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			研修については、年間計画を立て、職員みんなが参加できるように計画しています。	月に1回の内部研修と、年間にわたる外部研修の計画を作成し今後も同様な体制で取り組みます。

業務改善

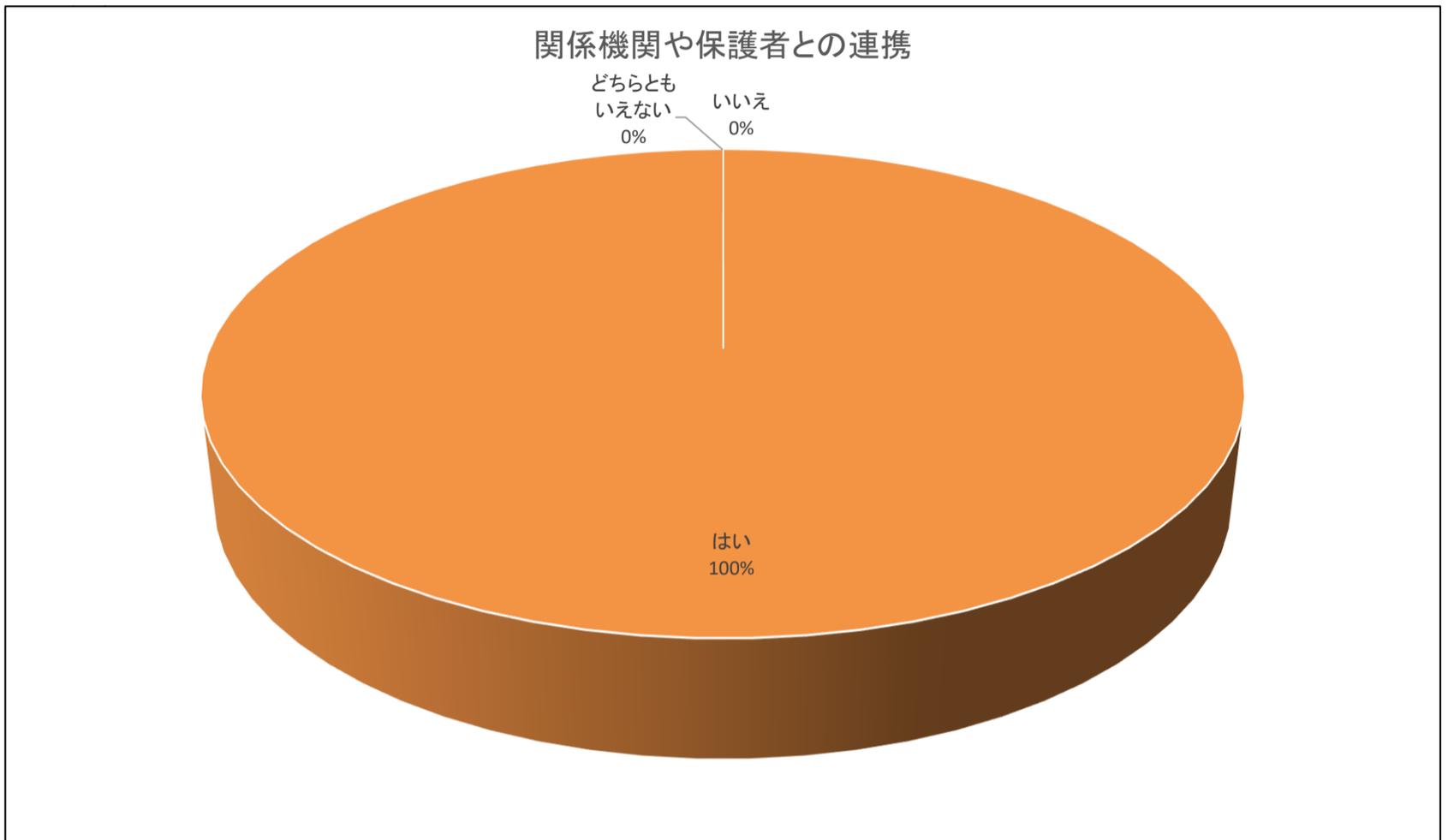


	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			子どもと保護者のニーズを細やかに聞き取ると同時に関係機関の意見も参考にし計画を作成している。	サービス担当者会議や、個別の聞き取りでアセスメントを行い、職員間で共有し、適切な支援について検討しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		利用開始時のアセスメントを施設の様式にて行い、定期的なアセスメント(振り返りシート)も同時に行っている。	施設のアセスメント様式について、より保護者の意向をくみ取りやすくするものに適宜更新していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			児童発達支援管理責任者を中心に、関係機関の意見を十分に聞いている。	活動プログラムについては、関係機関のみでなく、その都度保護者にも確認し、慎重に検討していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			1人1人に合ったプログラムを提供しており、支援者間で連携し決定している。	評価の際に、プログラムについての見直しを行っていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			学校との連携を大事にし、計画的な視点をもち課題を決めている。	学校を基盤にし、ご家庭からの要望を大切にしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			サービス導入前や計画書の更新時に関係者や保護者の意見をお聞きし、計画を立てています。	ひとり一人の課題と、利用日に応じ一般的な視点で計画していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			朝礼時に当日の予定や支援内容を共有している。	今後も同様に行っていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			終了毎に、当日の気づき等の振り返りを行い、共有を図っている。	気付いた部分を、支援に確実に生かせるような取り組みを考えていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			記録については二重チェックを行っています。	記録の取り方についての勉強会も、適宜行っていきます。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			6月に1回のモニタリングを確実にしています。	モニタリングの結果を、計画書に反映していけるように、職員のスーパーバイズまたは研修の確保に努めます。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				子どもの成長に関する、支援活動について、適宜ガイドラインの確認、を行っています。	

適切な支援の提供

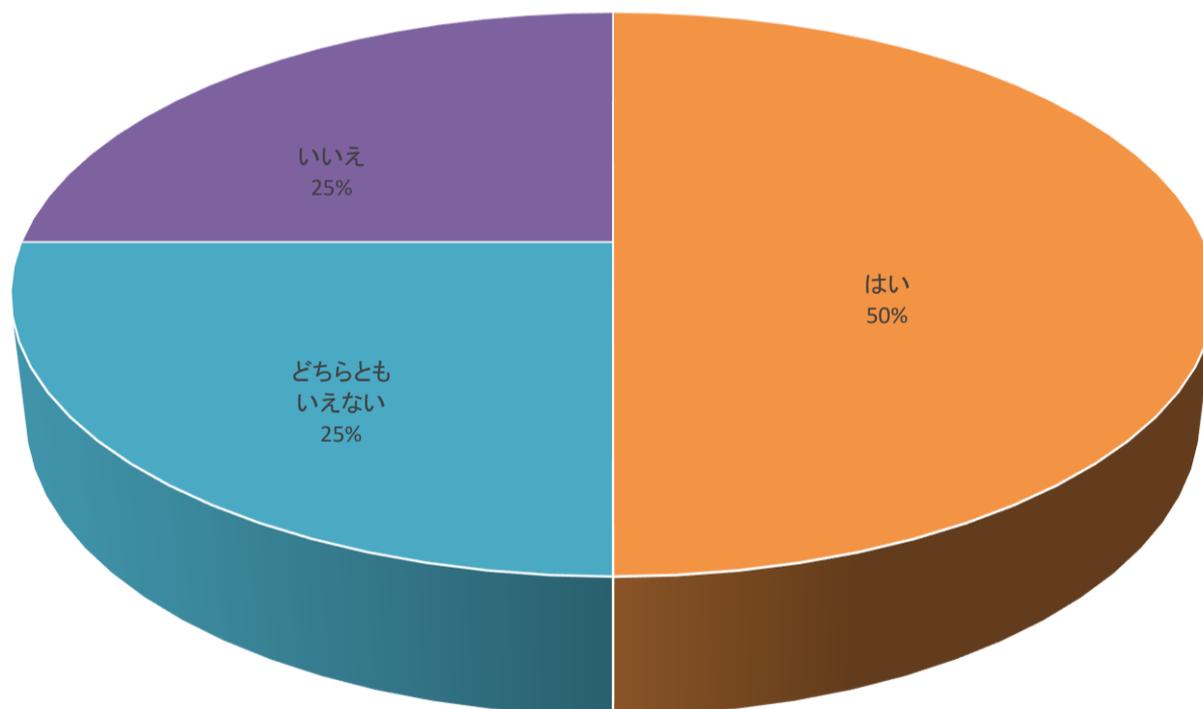


		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			利用児に対し、担当の職員を配置し、児発管と一緒に会議等に参加している。	今後も同様な体制で行っていきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			支援学校との情報共有を確実にしている。	細やかな情報共有を目指していきます。



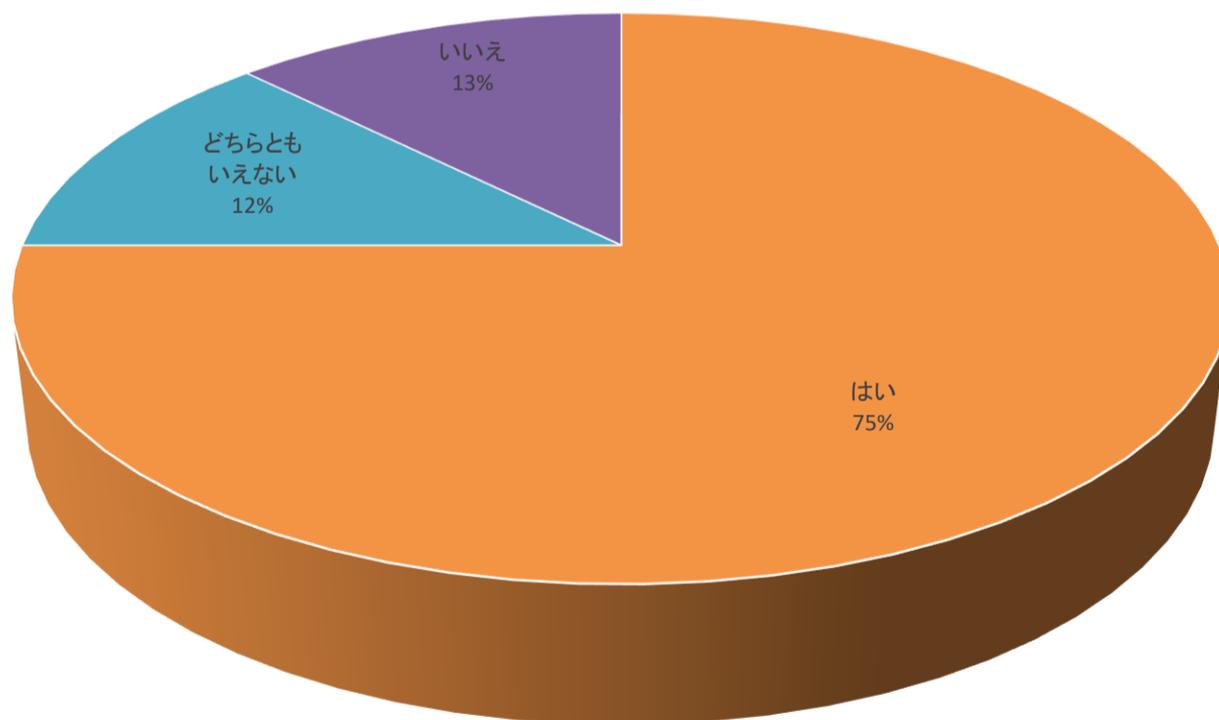
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	22		○		必要時は医療機関と訪問看護、保健師等の関係者間での連絡体制を整えています。	医療機関との連携を確実にできるようにしていきます。
	23	○			移行する際に、サービス担当者会議にて情報共有したり事前に訪問する等し情報の収集を図っている。	今後も同様の体制で行っていくとともに、体制についてのマニュアルを作成していきます。
	24	○			学校の移行支援会議に参加し、情報を提供している。	支援内容の提供について、様式等のツールを作成し、より細やかに情報を提供していけるよう努めます。
	25	○			他機関と連携しての研修は行っていません。	地域の機関と連携し研修会を行っていく。
	26			○	コロナ禍のため、自粛していた。	時期を見て交流の機会を作ります。
	27			○	施設の管理者が参加している。	必要時に、適切な職員の参加を考えていきます。
	28	○			送迎時に、状況を報告したり相談を受けたりしている。	より相談しやすい環境を整えていきます。
29			○	職員が研修を受け、体制を整えている。	ペアレントトレーニングを実施できるような職員育成に努めます。	

関係機関や保護者との連携



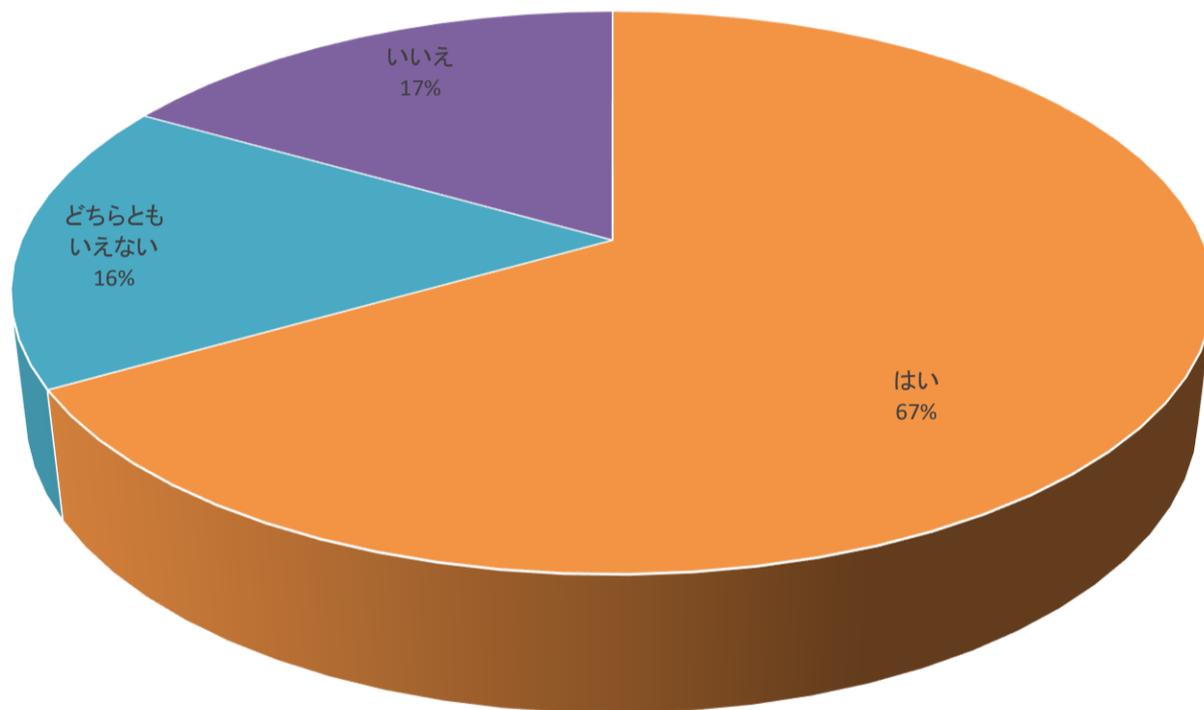
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>			契約時に口頭と書面で説明を行っている。	分かりやすい説明を心がけます。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>			送迎時等に、保護者に声をかけ話しやすい雰囲気に努めている。	悩みを発するのが苦手な保護者に対しても、悩みを聞き取れるよう信頼関係を築いていきます。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		<input type="radio"/>			コロナ禍で叶わない部分もあったが、時期を見て開催していきます。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>			苦情解決責任者を設置し、苦情があった場合もマニュアルに基づき適切な対応を心がけています。	苦情について、どのような苦情があったか周知していきます。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>			毎月、行事予定のおたよりを配布している。	おたよりについて、適宜見直しをし内容の充実を図っていきます。
	35 個人情報に十分注意している	<input type="radio"/>			職員に周知徹底している。	適宜、注意喚起していきます。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>				一人一人の特性や正確に合わせ、必要時はツール等を使用していきます。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			<input type="radio"/>		コロナ禍のため叶わなかったが、時期を見て行事等が開催できるよう計画を立てています。

保護者への説明責任等



		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○			適宜マニュアルの見直しを図り、周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			毎年5月と11月に避難訓練を行っている。	保護者に対しても、緊急時の対策について、周知していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			内部研修と外部研修への参加を確保している。	職員全員が順次参加できるようにしていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			○		今後、委員会の開催や規程の作成を行う予定。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				該当児童がいる際には、行っていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				今後、委員会で作成していけるよう計画していきます。

非常時等の対応



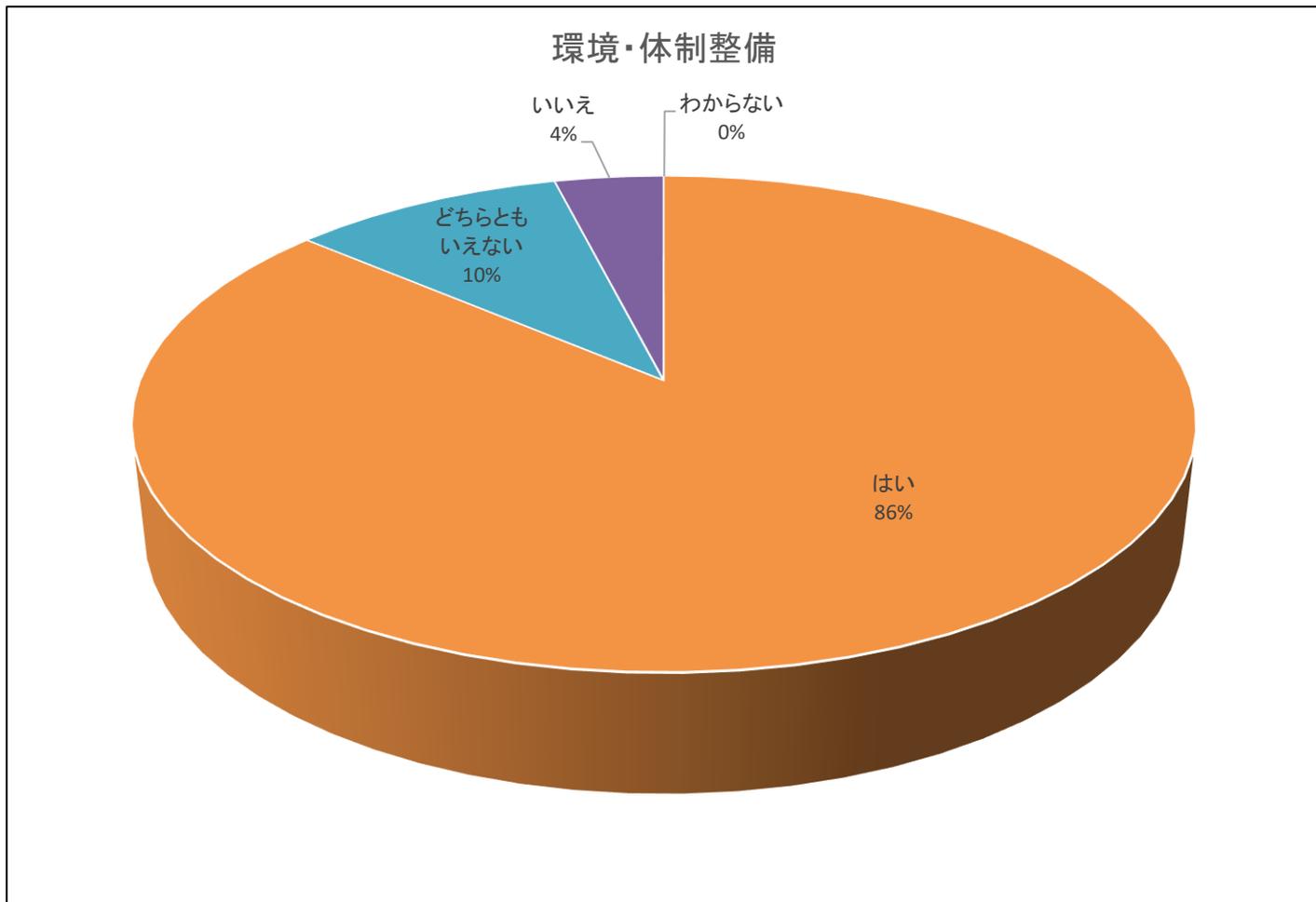
保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 12月 1日

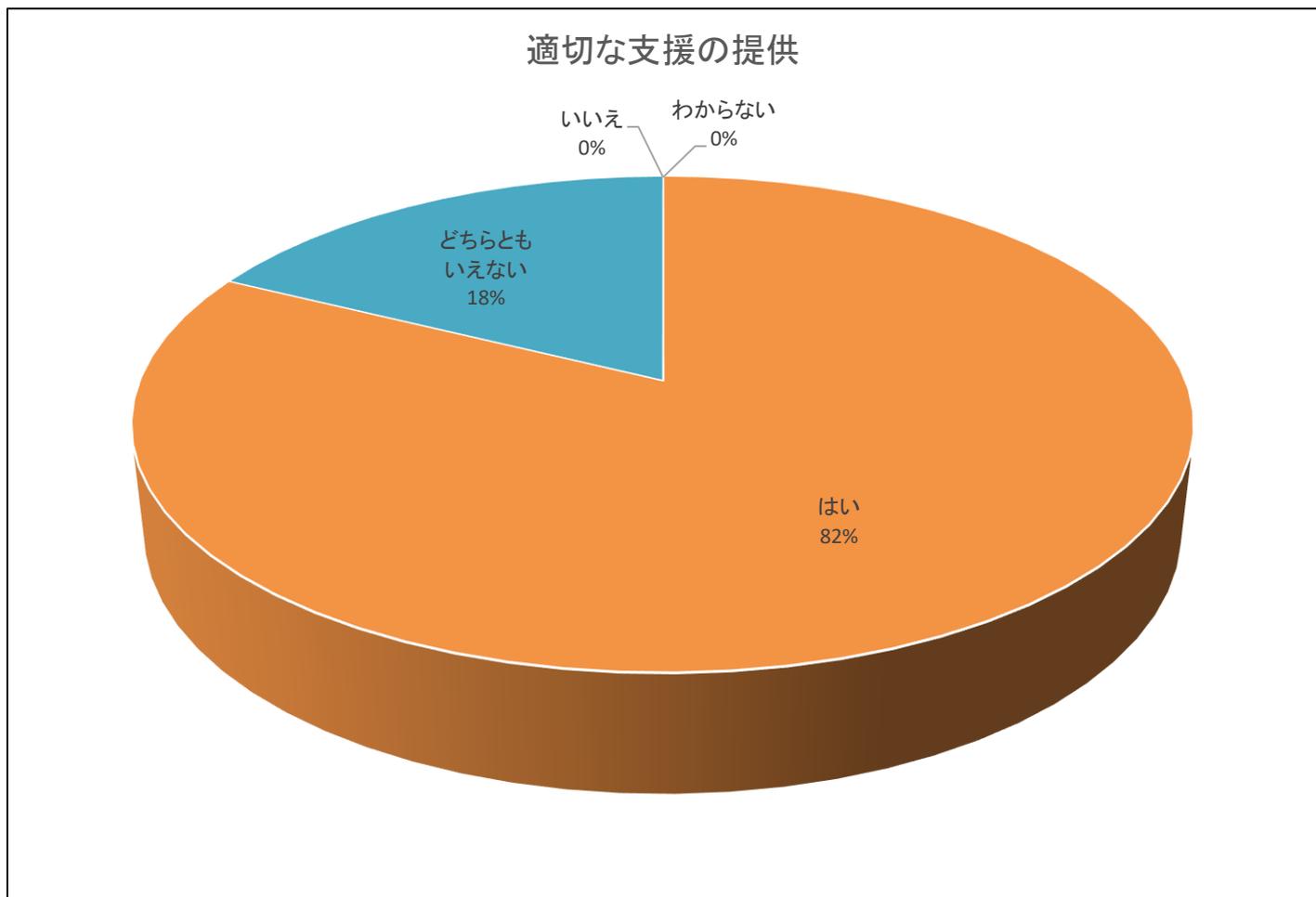
事業所名 多機能型ライフサポート 一互一笑

保護者等数(児童数) 回収数 17 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	5	2		・テレビルームについては、コロナ禍で難しい。 ・少しせまいと思いますが、その分外出させてもらいたいありがとうございます。 ・高等部になるとせまい。	外出の機会を持ったり、施設内の他の部屋や同法人の他施設を利用して対応しています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	17					職員の配置は人員基準以上としています。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17					バリアフリー化となっています。
	合計			44	5	2	0	

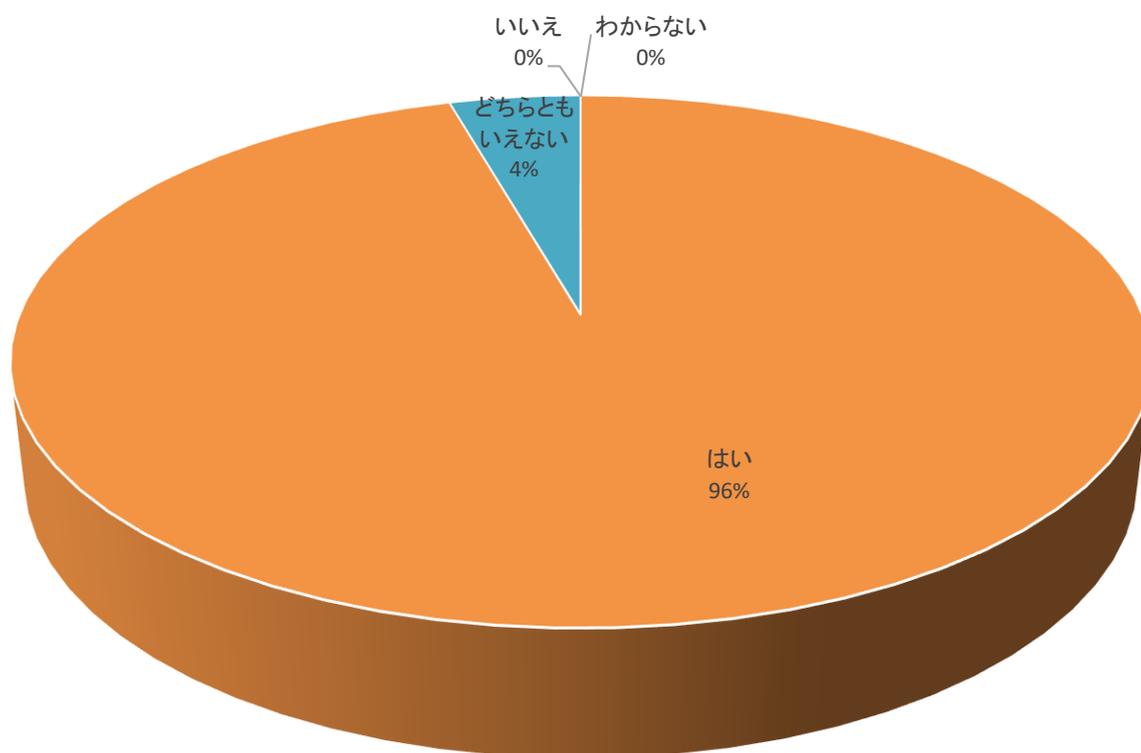


		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	17					ニーズの収集について、偏りがでないような工夫を考えていきます。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	16	1			・サンプルルなどに連れて行ってきて飽きないように配慮してくれてありがとうございます。	年齢層に分け、そのようなプログラムも企画していきます。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	8			・コロナ禍で難しい。	コロナ禍のため難しくかったが、時期を見て交流の機会に努めます。
	合計			42	9	0	0	

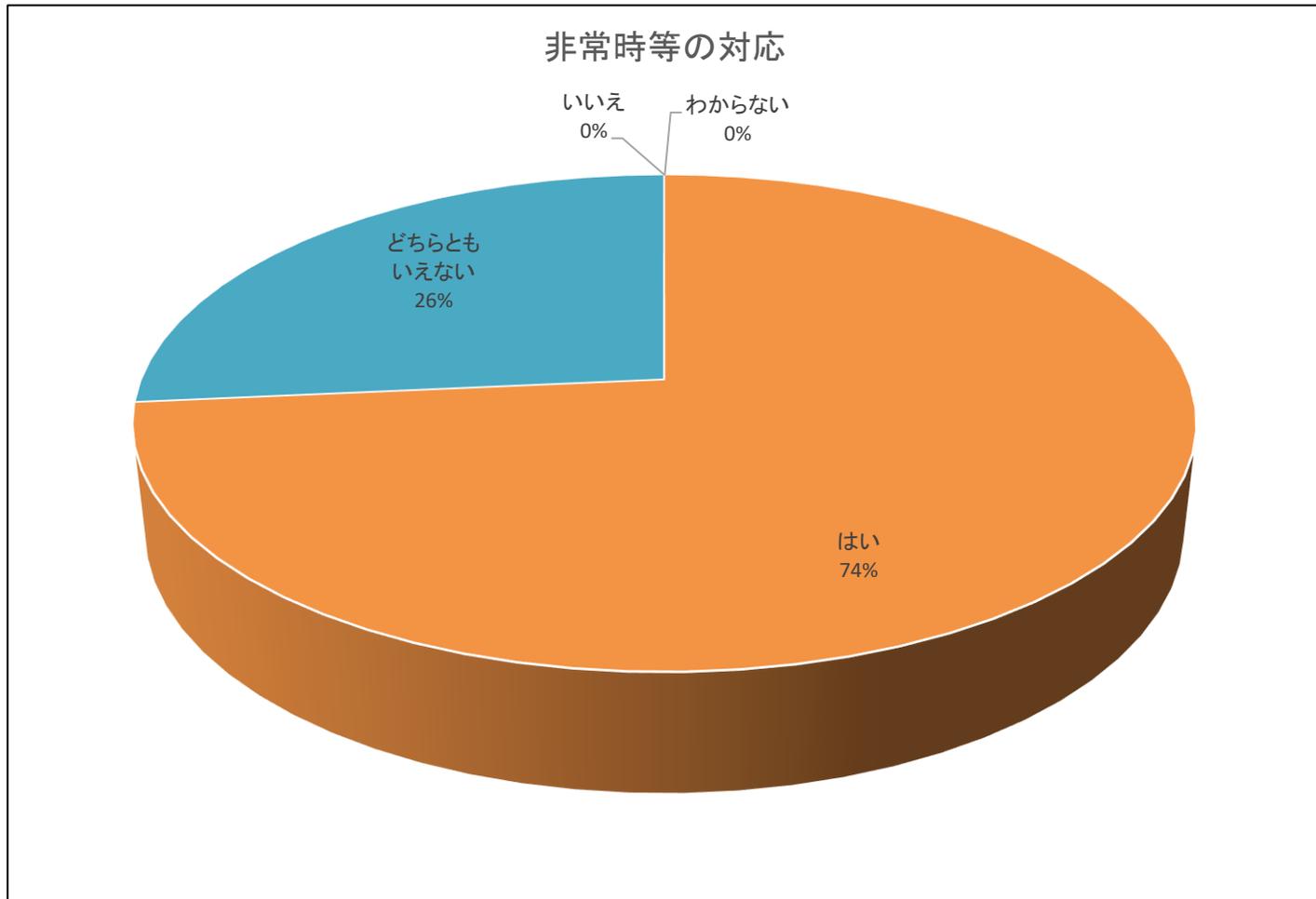


		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17					分かりやすい説明を心掛けます。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17					保護者との信頼関係を十分にし、子供の発達状況や課題についてご家庭との共有を大事にしていきます。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17					相談機能を充実させていきます。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13	4			・コロナにより、親同士の交流が少ないが、親の会からのお知らせがきているのでどんなことをしているか分かりやすかった。 ・コロナ禍で難しい。	コロナ禍により活動が難しかったが、中でもできることを探していきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	1				保護者が要望を伝えやすい体制を整え、内容についても周知し、透明性を図ります。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	1			・連絡帳の確認がされていないことがありました。	確実に確認し、様子をお伝えできるよう努めます。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17					ホームページやSNSで発信しています。
	14	個人情報に十分注意しているか	17					個人情報の保護について適宜注意喚起しており、徹底しています。
合計			130	6	0	0		

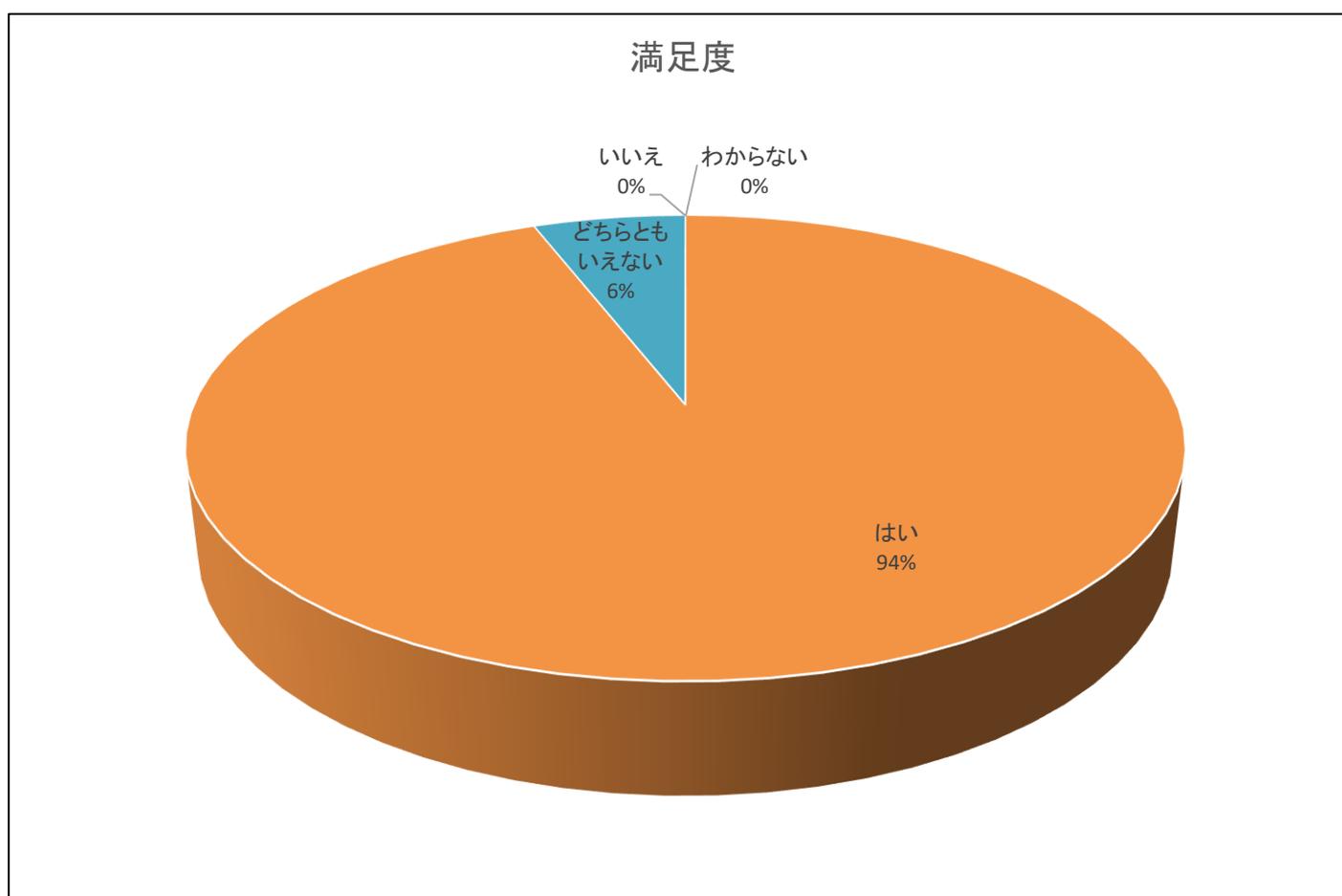
保護者への説明等



		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
非常時等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	4				マニュアルは作成していますが、保護者への周知は確実ではないので、取り組みについておたより等で発信していきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	5				計画に基づき、訓練を行っています。
合計			25	9	0	0		



		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	16	1			・すごく楽しみにしている。大好きなお友達も出来、自らすすんで通所してくれている。	1人1人のお子さんの興味・関心・発達段階を把握し、通所を楽しむにできるように努めます。
	18	事業所の支援に満足しているか	16	1			・手帳で利用者の様子が分かり、本人の言っていることと内容が補足されてあったことが分かる。土曜日など給食の内容も子供も食べやすいメニューなので、すごく助かっています。アレルギーもありお弁当を作るのが大変なので。	ありがとうございます。行き届かない部分があれば、何なりとお聞かせ下さい。支援方法については、ご家族の方や関係機関と連携し行います。今後もよろしく願い致します。
	合計		32	2	0	0		



*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。